“living our dream” Tour in the U.S.A

アドベンチャーライダー jasmine T Cardwell の

PHOTO&TEXT／jasmine T Cardwell

先月号で紹介したアリゾナ州、ニューメキシコ州について、今月も引き続きお話したあと、テキサス州についてもご紹介していきましょう。今回は少しシリアスな内容もありますが、でもそれも文化なので知って欲しいのです

本名：**晃良** [テルミ] **Cardwell**（36歳）

出身:愛知県豊橋市

特技:サーフィン、ゴルフ、武道（剣道二段、居合道四段、杖道参段→武道をやっていた経歴より、侍ライダーを名乗っています。）

バイク:BMW F650GS

www.samurai-rider.com

jasmine@samurai-rider.com

TXはとにかく広い！　東西の最長距離が、日本の本州より少し短い約1,300km！アメリカでは2番目に大きな州で、アメリカでトップ10にランクインしている大都市が3つもあります。4番目の大都市ヒューストン、7番目の都市サン・アントニオ、そして9番目の都市ダラスです。人口はカリフォルニア州に次ぐ2番目の多さで約2,500万人。州都はオースティンで、州のほぼ中央に位置します。

TX：果てしなく続くロング・ストレート・ロード。一度やってみたかったこと（笑）

広大な褐色の大地。どうやらコットン畑らしい

広大な大地に延々と続く、風力タービンの群

Indian Reservationから アメリカの歴史が垣間見える

こんにちは！　ADVライダーのjasmineです。先月紹介したアリゾナ州（以下AZ）とニューメキシコ州（以下NM）の過酷ながら素晴らしい旅の続きです。

AZ、NMには15か所以上にも及ぶ先住民族インディアンの末裔が暮らす居住地区（Indian Reservation）があります。他にも、多くの州でインディアン居住地区が点在します。

NM：インディアンの末裔たちのダンス。アルバカーキという街のオールドタウンという場所で

実は私、漠然とアメリカン・インディアンに昔からとても興味があります。そしてインディアン・ジュエリーなども大好きでコレクトしています。

ところが実際にこの地に足を踏み入れるまでは、彼らの歴史的背景を全く知りませんでした。皆さんが耳にしたことのあるインディアンは、ナバホ族やホピ族、ズニ族ではないでしょうか？　せっかくなので、すごく簡単にアメリカン・インディアンの歴史的背景を紹介したいと思います。

1800年台中旬頃、ヨーロッパからやってきた移民達が、土地の強制売買で乗っ取りはじめ、そこに暮らしていた先住民族であるアメリカン・インディアンは強制的に追い出されます。昔からそこに暮らすインディアンにとっては、突然の事態で非常に迷惑であり、戸惑います。もちろん居座り続けるインディアン達もいましたが、移民達は彼らを無差別に殺害し、そうして戦争が起こります。ヨーロッパからの移民の多さと、鉄砲という武器には歯も立たないインディアン達に勝ち目は無く、長い歳月に及ぶ支配が続き、強制的に今の居住地区で生活せざるを得なくなったのです。その居住地区がある場所は、交通の便が非常に悪く、道路も舗装されていないような、荒野の中にポツンと集団居住地区があるという生活に不敏な所ばかりなのです。もちろんまわりにお店などもありません。

今もそこに生きるのが、アメリカン・インディアンの末裔達で、彼らが過酷な状況の中、力強く生き抜いてきたという現状を目の当たりにして初めて、私はアメリカの歴史を垣間見たと感じました。正直、アメリカン・インディアンというと聞こえはいいですが、私達が認識しているものとは全く異なる現状だということを、是非皆さんにも知っていただきたく紹介しました。

全ての規模がとにかくデカイ! それがテキサスなんです!

さてシリアスなお話はここまで。ここからはテキサス州（以下TX）へ移動です！　みなさんはTXと聞いたら何を連想しますか？　カウボーイとステーキ!?　そうです、想像を裏切らない州がTX！　アメリカには国旗とは別に各州ごとに州旗があります。TXはメキシコの支配下からの独立国を経て、その後アメリカに合併され、歴史的背景から星がひとつデザインされている州旗となり、Lone Star State（ひとつ星の州）というニックネームを持っています。

TX：さすがテキサス！　ロナルド・マクドナルド君も馬に乗ってる…

フォートワース：本物のカウガールに遭遇！カッコいい！

キャットルマンズ・ステーキハウス。ここのステーキ、もう一度食べた〜〜〜い！

ダラスといえば、1963年に第35代アメリカ大統領ジョン・F・ケネディが暗殺された現場で有名です。教科書倉庫ビルの6階窓から犯人がケネディを射撃暗殺したことから、そのビルが「Sixth Floor Museum」として残されています。日本語音声ガイドもあり、勉強になりました。

次回は、東海岸南部の州に突入します。それでは、“living our dream, living my journey” - I will see you next month!!!

ダラス：シックス・フロア博物館

今、教科書倉庫の中から、ケネディが実際に射殺された現場を見ています。赤印のところが実際の現場で、×マークがつけられています

立派な日本庭園を構えるのは、フォートワースにあるボタニック・ガーデン。フォートワースは日本の新潟県長岡市と姉妹都市のため、長岡に関係する展示があります。外の池には井の頭公園並みに鯉がいて、餌付けできたりと、日本を体感できる癒しの空間にも出会えました。

ストックヤード（食用の牛や羊などの売買が行われるエリア）地区は、1900年代に大成功を収めたストックヤードビジネスを背景に、今では観光地Cowtown「牛の町」として親しまれています。ここでお目にかかれるキャトルという牛さん、今までの人生で食べたどのステーキよりも美味しいお肉でした！　もしもフォートワースを訪れる機会がありましたら、キャトルマンズ・ステーキハウスへ絶対、絶対にステーキを食べに行ってみてください!!![http://www.cattlemenssteakhouse.com]（左上部、写真参照）

その他にも牛革製品が豊富で、バイカーには嬉しいサイドバックやブーツ、財布など、老舗のお店が軒を連ね、牛さんのお陰でかなり楽しめます。

フォートワース：キャットルという牛さんのパレード。11時と4時に毎日行われる観光客向けアクティビティ。この牛さんが美味なんです！

テキサスは本当にCOWの街。誘惑のレザーとお肉♡

そして、さすがはカウボーイの州。ウエスタンブーツの専門店がそこら中にあり、本物のカウボーイにも遭遇しました！　テンション上がった〜〜〜（私、かなりのウエスタンスタイル好きです！）！

TX：フォートワースのLEDDY'S（レディーズ）というウエスタンブーツの専門店！　オーダーメイドもしてくれるけど、価格帯は少し高め

TX：ダラスで一番有名なウエスタンブーツ専門店ワイルド・ビルズは、リーズナブルな価格のブーツが揃っていました

今回訪れたフォートワースとダラスは、アメリカ本土のほぼ中南部、TXの北東部に隣り合わせに位置し、東と西を結ぶ国内線、国際線の大きな空港があり、さらに無数の国道が入り混じっているという、非常に交通量の多い街。そしてとても運転が荒い州だ、と感じました。高速道路のライディングは怖くて怖くて、コミュニケーションシステムで叫びまくり（笑）！　グレートプレーンズ地帯の強風の時と同様、やたらに腕に力が入り、手に汗握るライディングでした。もうダラス市街地は走りたくないよぉ〜。

フォートワースは唯一のナショナル・カウガール博物館があり、カウボーイと並びカウガールの活躍した歴史的背景も学ぶことが出来ます。

TX：フォートワースのカウガール博物館。飾ってあったこの博物館オリジナルのウエスタンブーツ。欲すぃ〜〜〜